

2019年度 核酸を標的とした低分子創薬研究会 第3回

2019.12.13 大阪梅田

第3回研究会では、核酸を標的とした医学研究の専門家お二人の先生にご講演をいただきます。

日時：12月13日（金）

午後3時～6時ごろ その後、懇親会

場所：島津製作所関西支社セミナー室（阪急梅田駅直上）

1. 研究会 #4

大阪大学大学院医学系研究科

神経難病認知症探索治療学寄附講座

永井義隆 教授

「リピート関連性非 ATG 依存性翻訳を標的とした

ノンコーディングリピート病の治療戦略」

2. 研究会 #5

京都大学大学院医学研究科

生体構造医学講座 形態形成機構学教室

萩原正敏 教授

「偽エクソンを標的とした遺伝病治療薬」

3. 懇親会 講演終了後

講演会場にて

永井 義隆 先生

大阪大学大学院 医学系研究科

神経難病認知症探索治療学寄附講座 教授

<http://www2.med.osaka-u.ac.jp/neurother/>

#### ご略歴

1990年 大阪大学医学部卒業

1990年 大阪大学医学部附属病院第2内科/神経内科・研修医

1991年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程

1995年 博士（医学）取得

1995年 大阪府立成人病センター脳内科・医員

1997年 米国デューク大学メディカルセンター神経内科・リサーチアソシエイト

2000年 大阪バイオサイエンス研究所第4研究部・学振特別研究員

2001年 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝学・助手

2007年 同・准教授

2008年 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部・室長

2016年- 大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座・教授

#### 講演概要

アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、ポリグルタミン病（ハンチントン病、脊髄小脳失調症(SCA)など）などの神経変性疾患は、人口高齢化社会を迎えて患者数が急激に増加していますが、いずれも有効な治療法、診断法に乏しい難病で、大きな社会問題となっています。当研究室では、このような現代医学の最重要課題の一つである難治性神経変性疾患、認知症を克服して、年長いてもQOL（クオリティー・オブ・ライフ）の高い健康的な生活を送れる未来を目指して研究を行っています。

近年、多くの神経変性疾患において、アミロイド $\beta$ 、タウ、 $\alpha$ シヌクレイン、TDP-43、ポリグルタミンなどの様々なタンパク質が、いずれも異常な構造へとミスフォールディングして凝集し、神経細胞内(あるいは細胞外)に蓄積し、神経変性を引き起こすという共通の発症分子メカニズムが考えられています。また、最近、一部の脊髄小脳失調症や筋萎縮性側索硬化症などにおいて、異常なリピーターRNAが細胞内で凝集したり、異常RNAを鋳型として全く新しい翻訳機構(リピーター関連性非ATG依存性翻訳)により異常なペプチドが産生されたりすることが報告され、神経変性疾患と異常RNAとの関連性が注目されています。

萩原 正敏 先生

京都大学大学院 医学研究科

生体構造医学講座 形態形成機構学教室 教授

<http://www.anat1dadb.med.kyoto-u.ac.jp/intro/>

#### ご略歴

1984年 三重大学医学部卒業

1988年 医学博士

1988年 名古屋大学 医学部薬理学講座 助手

1991年 Salk Institute (米・サンディエゴ) Postdoctoral Fellow

1992年 名古屋大学医学部 解剖学第三講座 助手

1993年 名古屋大学医学部 解剖学第三講座 講師

1995年 名古屋大学医学部 解剖学第三講座 助教授

1997年 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授

2003年 東京医科歯科大学 大学院疾患生命科学部 教授

2010年 現在 現職

#### 講演概要

「RNAを標的とする創薬によって、今は治らぬ病を明日には治す！」染色体や遺伝子の異常に起因する先天性疾患に対して、遺伝子治療やiPS細胞などに期待が寄せられている。ところが、当然ながら、患者の細胞や遺伝子を人為的に置き換えることは、神ならぬ我々には非常に困難である。我々は、これまで医学・薬学が発展させてきた創薬技術を基に、低分子の化合物を新しいアイデアで用いることにより、先天性難治疾患・癌などに対する画期的創薬を目指して研究を展開している。自らが創製した低分子化合物を武器に、難治の病に苦しむ患者を治すことが、我々の夢である。」

核酸を標的とした低分子創薬研究会 2019年度 第3回  
 大阪大学大学院 医学系研究科 永井義隆教授  
 京都大学大学院 医学研究科 萩原正敏教授  
 追加受講、臨時受講のご案内

表記の講演会について、当日限りの追加受講（会員企業）、臨時受講者（非会員企業）を下記の通り募集いたします。下記申込書にご記入の上、事務局まで（確認の為中谷にも）お申込み下さい。事務局からの返信を持って受付とさせていただきます。

記

1. 主 催： 一般財団法人 大阪大学産業科学研究協会
2. 臨時受講会費： 会員企業 会員1名につき2名無料・3名以降は20,000円/人  
 非会員企業 80,000円/人  
 アカデミア 5,000円/人  
 学生 1,000円/人
3. 日 時： 令和元年12月13日 午後3時より6時ごろまで
4. 場 所： 島津製作所関西支社セミナー室（阪急梅田駅直上）
5. 懇 親 会： 同所にて 会費4,000円/人

大阪大学産業科学研究協会 事務局  
 e-mail : [RAIS@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:RAIS@sanken.osaka-u.ac.jp)

----- < 12月13日追加・臨時受講申込書 > -----

一般財団法人 大阪大学産業科学研究協会 事務局宛

FAX : 06-6948-6902 e-mail : [RAIS@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:RAIS@sanken.osaka-u.ac.jp)

「核酸を標的とした低分子創薬研究会」にて12月13日に開催されます第3回研究会の  
 （追加受講 or 臨時受講）（該当する方に○）を申し込みます。

参加者名		懇親会出席 (該当する方に○)	有 無
御社名		研究会会員 (該当する方に○)	有 無
所属名・役職			
電話/FAX	TEL :	FAX :	
電子メール			
住所	〒		
請求書送付先 (上記以外の場合)	〒 (宛先)		

(\*お手数ですが、参加者1名にき、1枚の申込書をお願い致します)